



一時的な状態

この章では、よく発生する Cisco ONS 15454 SDH の一時的な状態についてそれぞれ説明し、エンティティ、SNMP 番号、およびトラップを示します。

3.1 一時的な状態のアルファベット順インデックス

表 3-1 に、ONS 15454 SDH の一時的な状態とそれらのエンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップをアルファベット順に示します。



(注)

CTC のデフォルトアラームプロファイルには、現在は実装されていないが今後の使用のために予約されているアラームおよび状態が含まれていることがあります。

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス

一時的な状態	エンティティ	SNMP 番号	SNMP トラップ
3.3.1 ADMIN-DISABLE (p.3-4)	NE	5270	disableInactiveUser
3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR (p.3-4)	NE	5280	disableInactiveClear
3.3.3 ADMIN-LOCKOUT (p.3-4)	NE	5040	adminLockoutOfUser
3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR (p.3-4)	NE	5050	adminLockoutClear
3.3.5 ADMIN-LOGOUT (p.3-4)	NE	5020	adminLogoutOfUser
3.3.6 ADMIN-SUSPEND (p.3-4)	NE	5340	suspendUser
3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR (p.3-4)	NE	5350	suspendUserClear
3.3.8 AUD-ARCHIVE-FAIL (p.3-5)	EQPT	6350	archiveOfAuditLogFailed
3.3.9 DBBACKUP-FAIL (p.3-5)	EQPT	3724	databaseBackupFailed
3.3.10 DBRESTORE-FAIL (p.3-5)	EQPT	3726	databaseRestoreFailed
3.3.11 EFM-ERR-FRM (p.3-5)	ML100T、ML1000、MLFX、ML2	6800	efmLinkMonitoringErroredFrameEvent
3.3.12 EFM-FRM-PER (p.3-5)	ML100T、ML1000、MLFX、ML2	6810	efmLinkMonitoringErroredFramePeriodEvent
3.3.13 EFM-FRM-SEC (p.3-6)	ML100T、ML1000、MLFX、ML2	6820	efmLinkMonitoringErroredFrameSecondsSummary
3.3.14 EFM-RLBK-FAIL (p.3-6)	ML100T、ML1000、MLFX、ML2	6830	efmRemoteLoopbackRequestFailed

表 3-1 ONS 15454 SDH 一時的な状態のアルファベット順インデックス (続き)

一時的な状態	エンティティ	SNMP 番号	SNMP トラップ
3.3.15 EFM-SYM-PER (p.3-6)	ML100T、ML1000、 MLFX、ML2	6790	efmLinkMonitoringErroredSymbolPeriodEvent
3.3.16 FIREWALL-DIS (p.3-6)	NE	5230	firewallHasBeenDisabled
3.3.17 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-6)	OCN	5560	forcedSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.18 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-6)	OCN	5550	forcedSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch
3.3.19 INTRUSION (p.3-7)	NE	5250	securityIntrusionDetUser
3.3.20 IOSCFG-COPY-FAIL (p.3-7)	—	3660	iosConfigCopyFailed
3.3.21 LOGIN-FAIL-LOCKOUT (p.3-7)	NE	5080	securityInvalidLoginLockedOutSeeAuditLog
3.3.22 LOGIN-FAIL-ONALRDY (p.3-7)	NE	5090	securityInvalidLoginAlreadyLoggedInSeeAuditLog
3.3.23 LOGIN-FAILURE-PSWD (p.3-7)	NE	5070	securityInvalidLoginPasswordSeeAuditLog
3.3.24 LOGOUT-IDLE-USER (p.3-7)	—	5110	automaticLogoutOfIdleUser
3.3.25 MANWKSWBK-NO-TRFSW (p.3-7)	OCN	5540	manualSwitchBackToWorkingResultedInNoTrafficSwitch
3.3.26 MANWKSWPR-NO-TRFSW (p.3-8)	OCN	5530	manualSwitchToProtectResultedInNoTrafficSwitch
3.3.27 MSSP-RESYNC (p.3-8)	STMN	4340	msspMultiNodeTableUpdateCompleted
3.3.28 PM-TCA (p.3-8)	—	2120	performanceMonitorThresholdCrossingAlert
3.3.29 PS (p.3-8)	EQPT	2130	protectionSwitch
3.3.30 RMON-ALARM (p.3-8)	—	2720	rmonThresholdCrossingAlarm
3.3.31 RMON-RESET (p.3-8)	—	2710	rmonHistoriesAndAlarmsResetReboot
3.3.32 SFTWDOWN-FAIL (p.3-9)	EQPT	3480	softwareDownloadFailed
3.3.33 USER-LOCKOUT (p.3-9)	NE	5030	userLockedOut
3.3.34 USER-LOGIN (p.3-9)	NE	5100	loginOfUser
3.3.35 USER-LOGOUT (p.3-9)	NE	5120	logoutOfUser
3.3.36 WORK-QUEUE-FULL (p.3-9)	EQPT		
3.3.37 WKSWBK (p.3-9)	EQPT、OCN	2640	switchedBackToWorking
3.3.38 WKSWPR (p.3-10)	2R、TRUNK、EQPT、 ESCON、FC、GE、 ISC、OCN、 STSMON、VT-MON	2650	switchedToProtection
3.3.39 WTR-SPAN (p.3-10)	—	3420	spanIsInWaitToRestoreState

3.2 トラブル通知

ONS 15454 SDH では、Telcordia GR-253 の規則に従った状態の標準特性および GUI（グラフィカル ユーザー インターフェイス）の状態インジケータを使用して問題が報告されます。

ONS 15454 SDH では、Telcordia の標準カテゴリを使用して問題を各レベルに分類しています。システムは CTC Alarms ウィンドウで、アラームとして問題を通知し、状態としてステータスまたは記述的通知（設定されている場合）を行います。アラームは通常、Loss of Signal (LOS; 信号損失) など、修復する必要のある問題を示します。状態の場合は、トラブルシューティングが必要であるとは限りません。

3.2.1 状態の特性

状態には、ONS 15454 SDH シェルフで検出されたすべての問題が含まれます。未解決な状態や一時的な状態もあります。ネットワーク、ノード、またはカード上で現在生成されているすべての状態のスナップショットは、CTC Conditions ウィンドウか、または TL1 の一連の RTRV-COND コマンドを使用して表示できます。



(注) 解除された状態は、History タブで確認できるものもあります。

状態の総覧については、『Cisco ONS 15454 SDH and Cisco ONS 15600 SDH TL1 Command Guide』を参照してください。

3.2.2 状態のステータス

History タブのステータス (ST) カラムには、状態のステータスが次のように表示されます。

- raised (R; 生成) は、アクティブなイベントです。
- cleared (C; 解除) は、アクティブではなくなったイベントです。
- transient (T; 一時的) は、ユーザのログイン、ログアウト、ノード ビューへの接続の消失など、システムの変更中に CTC で自動的に生成されて解除されたイベントです。一時的なイベントに対しては、ユーザの対処は必要ありません。

3.3 一時的な状態

ここでは、ソフトウェア リリース 7.2 で検出されるすべての一時的な状態をアルファベット順に示します。それぞれの状態の説明、エンティティ、SNMP 番号、および SNMP トラップも示します。

3.3.1 ADMIN-DISABLE

非アクティブ ユーザのディセーブル化 (ADMIN-DISABLE) 状態は、指定された期間にわたって非アクティブであったユーザまたはアカウントを管理者がディセーブルにしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.2 ADMIN-DISABLE-CLR

非アクティブ ディセーブル化の解除 (ADMIN-DISABLE-CLR) 状態は、管理者がユーザ アカウントのディセーブル化フラグを解除したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.3 ADMIN-LOCKOUT

管理者によるユーザのロックアウト (ADMIN-LOCKOUT) 状態は、管理者がユーザ アカウントをロックしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.4 ADMIN-LOCKOUT-CLR

管理者によるロックアウトの解除 (ADMIN-LOCKOUT-CLR) 状態は、管理者がユーザ アカウントをロック解除したか、ロックアウト時間が経過したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.5 ADMIN-LOGOUT

管理者によるユーザのログアウト (ADMIN-LOGOUT) 状態は、管理者がユーザ セッションをログオフしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.6 ADMIN-SUSPEND

ユーザの一時停止 (ADMIN-SUSPEND) 状態は、ユーザ アカウントのパスワードが期限切れになったときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.7 ADMIN-SUSPEND-CLR

ユーザの一時停止の解除 (ADMIN-SUSPEND-CLR) 状態は、ユーザまたは管理者がパスワードを変更したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.8 AUD-ARCHIVE-FAIL

監査ログのアーカイブの失敗 (AUD-ARCHIVE-FAIL) 状態は、ソフトウェアが監査ログをアーカイブできないときに発生します。この状態は、一般に、参照した FTP サーバが存在しない場合、またはアーカイブ試行時に無効なログインを使用した場合に発生します。正しいユーザ名、パスワード、FTP サーバ詳細で再度ログインする必要があります。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.9 DBBACKUP-FAIL

データベース バックアップ失敗 (DBBACKUP-FAIL) 状態は、バックアップ コマンドが開始されたときに、システムがデータベースのバックアップに失敗したときに発生します。

ネットワークまたはサーバの問題のためにサーバがバックアップ操作を処理できない可能性があります。同じ操作を繰り返して、成功するかどうか確認してください。バックアップが失敗した場合は、ネットワークに問題があるか、ソフトウェアのプログラム エラーが原因かもしれません。弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン](#)」(p.xxxiv) を参照してください。

3.3.10 DBRESTORE-FAIL

データベース復元失敗 (DBRESTORE-FAIL) 状態は、復元コマンドが開始されたときに、システムがバックアップされたデータベースを復元できなかったときに発生します。

この状態は、サーバの問題、ネットワークの問題、または人的エラー (存在しないファイルを指定した、ファイル名が正しくないなど) が原因です。正しいファイルを指定してデータベース復元を再試行すると、通常は成功します。ネットワークの問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。この状態がネットワーク要素 (NE) の障害が原因で発生した場合は、弊社サポート担当に連絡してください。必要に応じて、「[マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン](#)」(p.xxxiv) を参照してください。

3.3.11 EFM-ERR-FRM

EFM リンク モニタリング - エラー フレーム イベント (EFM Link Monitoring - Errored Frame Event) 状態は、リモート NE で検出されたエラー フレームの数が指定の期間で指定されたしきい値以上になった場合、またリモート NE がローカル NE にしきい値超過を通知した場合に発生します。期間は時間間隔によって指定されます。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.12 EFM-FRM-PER

EFM リンク モニタリング - エラー フレーム期間イベント (EFM Link Monitoring - Errored Frame Period Event) 状態は、リモート NE で検出されたエラー フレームの数が指定の期間で指定されたしきい値以上になった場合、またリモート NE がローカル NE にしきい値超過を通知した場合に発生します。期間は、受信したフレームの数によって指定されます。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.13 EFM-FRM-SEC

EFM リンク モニタリング - エラー フレーム秒数のサマリー (EFM Link Monitoring - Errored Frame Seconds Summary) 状態は、リモート NE 上でエラー フレーム秒数 (1 つ以上のフレーム エラーが検出された 1 秒間隔) が、設定された期間または間隔に設定されたしきい値を超過した場合に発生します。リモート NE はローカル NE にしきい値超過を通知します。

3.3.14 EFM-RLBK-FAIL

EFM - リモート ループバック エラー (EFM - Remote Loopback Request Failed) 状態は、前の要求が失敗した場合に発生します。ローカル NE 上でリモート ループバック要求をトリガーした場合、要求はリモート NE に転送されます。リモート NE が要求に応答せず、ローカル NE がタイムアウトになった場合、この状態はローカル NE のユーザにエラーを通知します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.15 EFM-SYM-PER

EFM リンク モニタリング - エラー シンボル期間イベント (EFM Link Monitoring - Errored Symbol Period Event) 状態は、リモート NE で検出されたシンボルエラーが、設定されたしきい値を超過した場合に発生します。この状態はローカル NE のユーザにしきい値超過を通知します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.16 FIREWALL-DIS

ファイアウォール ディセーブル化 (FIREWALL-DIS) 状態は、ファイアウォールを Disabled にプロビジョニングしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.17 FRCDWKSWBK-NO-TRFSW

現用への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし (FRCDWKSWBK-NO-TRFSW) 状態は、現用ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、現用ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Force Switch (Ring または Span) が未処理状態となることがあります。

3.3.18 FRCDWKSWPR-NO-TRFSW

保護への強制再切り替えによるトラフィック切り替えなし (FRCDWKSWPR-NO-TRFSW) 状態は、保護ポート / カードへの強制切り替えを実行したときに、保護ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.19 INTRUSION

無効なログイン ユーザ名 (INTRUSION) 状態は、無効なユーザ ID でログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.20 IOSCFG-COPY-FAIL

IOS 設定コピー失敗 (IOSCFG-COPY-FAIL) 状態は、ML シリーズイーサネットカードで、ソフトウェアが ML シリーズカードに設定ファイルをアップロードできなかったとき、または ML シリーズカードから設定ファイルをダウンロードできなかったときに発生します。[「SFTWDOWN-FAIL」\(p.3-9\)](#) と類似していますが、IOSCFG-COPY-FAIL 状態は、TCC2/TCC2P カードではなく、ML シリーズイーサネットカードに適用されます。

3.3.21 LOGIN-FAIL-LOCKOUT

無効なログイン、ロックアウト (LOGIN-FAIL-LOCKOUT) 状態は、ロックされたアカウントにログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.22 LOGIN-FAIL-ONALRDY

セキュリティ：無効なログイン、すでにログオン (LOGIN-FAIL-ONALRDY) 状態は、既存のセッションおよび Single-User-Per-Node (SUPN) ポリシーでノードにログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.23 LOGIN-FAILURE-PSWD

無効なログイン、パスワード (LOGIN-FAILURE-PSWD) 状態は、無効なパスワードでログインしようとしたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.24 LOGOUT-IDLE-USER

アイドルユーザの自動ログアウト (LOGOUT-IDLE-USER) 状態は、ユーザセッションが長時間アイドル状態だったために (アイドルタイムアウトが経過)、結果としてセッションが終了したときに発生します。ログインし直して、セッションを再開する必要があります。

3.3.25 MANWKSWBK-NO-TRFSW

現用への手動再切り替えによるトラフィック切り替えなし (MANWKSWBK-NO-TRFSW) 状態は、現用ポート / カードへの手動切り替えを実行したときに、現用ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.26 MANWKSWPR-NO-TRFSW

保護への手動切り替えによるトラフィック切り替えなし (MANWKSWPR-NO-TRFSW) 状態は、保護ポート / カードへの手動切り替えを実行したときに、保護ポート / カードがすでにアクティブなときに発生します。

この一時的な状態によって、MS-SPRing の Manual Switch (Span または Ring) が未処理状態となることがあります。

3.3.27 MSSP-RESYNC

MS-SPRing マルチ ノード テーブル アップデート完了 (MSSP-RESYNC) 状態は、ノードがリング内の他のノードからペイロード、パス ステート、Routing Information Protocol (RIP)、クロスコネク ト テーブル、クロスコネク ト VT テーブルなど、すべての関連情報を受信したときに発生します。この状態は、ノードが追加されたり回線がプロビジョニングされるときに、リング内のすべてのノードで生成されます。この一時的な状態は解除されず、CTC の History タブに表示されます。

すべてのノードでこの状態を確認したあと、Forced Switched Ring コマンドを削除する必要があります。

3.3.28 PM-TCA

パフォーマンス モニタしきい値超過アラート (PM-TCA) 状態は、ネットワーク コリジョンが上昇しきい値を初めて超えたときに発生します。

3.3.29 PS

保護切り替え (PS) 状態は、トラフィックが現用 / アクティブ カードから保護 / スタンバイ カードに切り替えられたときに発生します。

3.3.30 RMON-ALARM

RMON しきい値超過アラーム (RMON-ALARM) 状態は、リモート モニタリング変数がしきい値を超過したときに発生します。

3.3.31 RMON-RESET

RMON 履歴およびアラーム リセット リポート (RMON-RESET) 状態は、TCC2/TCC2P カードの時刻設定が 5 秒を超えて進んだか遅れたときに発生します。これによってすべての履歴データが無効になり、Remote Monitoring (RMON) を再起動する必要があります。カードをリセットしたときにも発生します。

3.3.32 SFTWDOWN-FAIL

ソフトウェア ダウンロード失敗 (SFTWDOWN-FAIL) 状態は、システムが必要なソフトウェアのダウンロードに失敗したときに発生します。

この失敗は、入力で指定された場所やファイルが正しくないか、ネットワーク問題、または不良な (破損した) パッケージが原因です。正しいファイル名または場所を指定して操作を再試行すると、通常は成功します。ネットワーク問題が続く場合は、弊社サポート担当に連絡してください。パッケージが破損している場合は、弊社サポート担当に連絡してください。詳細は、「[マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン](#)」(p.xxxiv) を参照してください。

3.3.33 USER-LOCKOUT

ユーザ ロックアウト (USER-LOCKOUT) 状態は、ログインしようとして失敗したために、システムがアカウントをロックしたときに発生します。作業を進めるには、管理者がアカウントをロック解除するか、ロックアウト時間が経過する必要があります。

3.3.34 USER-LOGIN

ユーザのログイン (USER-LOGIN) 状態は、ユーザ ID とパスワードを確認することによって、新しいセッションを開始したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.35 USER-LOGOUT

ユーザのログアウト (USER-LOGOUT) 状態は、ユーザが自分のアカウントからログアウトすることによって、ログインセッションを中止したときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.36 WORK-QUEUE-FULL

ワーク キュー フル (WORK-QUEUE-FULL) 状態は、VxWorks の netTask キューがフル状態であり、カード上のタスク処理が延期された場合に発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.37 WKSWBK

現用への再切り替え (WKSWBK) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の現用ポート / カードにトラフィックが再切り替えされたときに発生します。

この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。

3.3.38 WKSWPR

保護への切り替え (WKSWPR) 状態は、非リバーティブ保護グループ内の保護ポート/カードにトラフィックが切り替えられたときに発生します。この一時的な状態は、未処理の状態とはなりません。(WKSWPR) は、リバーティブ保護グループの未処理状態として発生します。

保護への切り替え (WKSWPR) 状態は、1+1 非リバーティブ保護グループ内で一時的な状態として保護が切り替えられたあとも発生します。保護グループがリバーティブに変更されると、(WKSWPR) は未処理状態または一時的な状態として発生しません。ただし、1:1 保護グループ内で保護が切り替えられたあと、保護グループを非リバーティブからリバーティブに設定することはできません。

3.3.39 WTR-SPAN

スパンが状態の復元を待機中 (WTR-SPAN) 状態は、Signal Failure-Span コマンドによって、または 4 ファイバ MS-SPRing 設定からファイバが引き抜かれたために、MS-SPRing が別のスパンに切り替えられたときに発生します。この状態は、WaitToRestore (WTR) 期間が経過するまで生成されます。

この一時的な状態は、MS-SPRing が正常状態または IDLE 状態に戻ると解除されます。